

山陽小野田市民病院では、市民の高齢化に伴い増加が見込まれる生活習慣病や救急、分娩、小児等の政策医療の整備、特に高齢者の運動疾患や合併症のある透析患者への対応、周産期医療、歯周病を含む歯科衛生等を中心に強化・整備を図る方針とします。

診療機能別整備方針

基本計画：1-5 診療機能整備の基本方針より

①がんへの対応

- 化学療法の実施を図ります。
- がん検診・ドック等の検診施設(乳がん、子宮がん等)を充実させます。

②脳卒中への対応

- CT, MRI, 血管造影装置等の画像診断機器を高機能化し、検査の短時間化、診断精度の向上を図ります。
- 病棟内に亜急性期入院医療管理料算定病床を設置し、回復期リハビリテーションの強化を図ります。

③急性心筋梗塞への対応

- CT, MRI, 血管造影装置等の画像診断機器を高機能化し、検査の短時間化、診断精度の向上を図ります。

④糖尿病への対応

- 透析機能については、諸々の合併症患者にも対応できる市内唯一の総合腎・透析センターを有しており、今後も充実・強化を図ります。
- 特定健診、ドック、健康教室・保健指導の充実・強化を図ります。
- 市保健部門との連携・協働体制の構築を図ります。

⑤救急医療連携への対応

- 救急医療体制強化のため、かかりつけ医、急患

診療所等の一次救急や高度医療機関の三次救急との役割分担と連携を推進します。

⑥災害医療への対応

- 災害発生時の患者受け入れスペースを確保し、状況に応じて患者収容施設への転換対応を図ります。
- 救急医療研修の充実やDMAT等の救急医療チームの編成を目指します。

⑦中山間地域過疎集落医療への対応

- 将来的に、巡回診療、教育・研修機能の整備を目指します。

⑧周産期医療への対応

- 出産スペースの充実、プライバシーに配慮したゾーニングを行います。
- 産婦人科医3人体制を維持します。

⑨小児医療への対応

- 感染症に対応できる待合室、診察室、病室の整備を行います。
- 小児科医の招へいに注力します。

⑩地域医療連携への対応

- 患者の継続医療のため、地域の医療機関や介護施設等との連携(地域連携パス、緊急入院等)を推進します。

主な部門の整備方針

基本計画：1-6 新病院の概要より

- 病棟の個室を現在の約2倍の74室とし、産科病室は全て個室とします。
- 待ち時間の短縮を図ります。
- 屋上庭園を4階の屋外に設け、憩いの空間とします。
- 中央処置室を設置し、外来のほぼ全科の採血・採尿・点滴などを行います。
- 化学療法室を設置し、実施体制の充実を図ります。
- 外来調剤は、原則、院外処方とします。

診療科目と病床数・病棟構成

基本計画：1-6 新病院の概要より

①診療科目

- 14科

②病床数

- 215床

③病棟構成

- 5～8階とし、8階を女性フロアとします。

